田代時報

8月号
発行所　田代村公民館
電話19番
発行責任者　湯ノ谷米吉
編集責任者　小川兵一
鹿児島市易居町2
南日本新聞社印刷局

盂蘭盆会について

教育長　湯ノ谷米吉

盆暦七月十五日は祖先の亡霊を供養し倒懸の苦しみを救う法会でありますが、我が村ではこれを新暦に改め八月十五日に一斉に行われているのです。

盂蘭盆会はどうして起ったのかどんな風に行われてきたか簡単に調査の要項と思い出を書いてみました。印度の僧「目連」と云う人は仏道の修業につとめやがて神にも通ずる即ち「神通力」を得て悟りの境涯に入ったので亡き父母の為に乳哺の恩に報いようと思って神通力によって透視してみると亡母は先の世に在つて餓鬼中にあり飢渇に苦しんでいることを知り、目連はすぐに飯を盛り母に飼したが食べだ口に入らざる中に飯は火災となつて焼けてしまい食することができず、目連は驚き手に持つ杖を地中にさし込むと冷い水が泉になつてわき出て、うきたのです。亡母は此の冷い水を掬すべく喜んで近寄ると見るまに冷水が熱湯に変じ全身熱湯の中に苦しめられた。これをみた目連は悲号泣し苦境にある母を救い出すことができないので教を仏に求めたのです。仏様教えて曰く「汝の母の罪根深くして汝一人の力にては如何ともなし難し宜敷衆僧の力を得て解脱せしむべし」と教えられ、目連は教えに従い七月十五日衆僧を供養し専心法会を営みましたところ、その功徳顕はれ母は解脱して苦境から救われ安きについた。この衆僧を供養したことにより、お盆には種々の御馳走を供うるようになつたのです。

我が国では斉明天皇の代初めて盆会を営まれこれから歴代禁中の恒例となり毎年七月十四日に行われていたがこれが民間に伝わり稍形を変え七月十五日に父母乃至七代の祖先を懐想し有縁無縁のものより三界万霊の為めに百味の飲食物及五菓を具えいづれも精進料理以て供養を行うことになつた。

▲霊祭（精霊祭、聖霊祭とも云う）七月十三日より十五日迄、七月十二日と十三日の両日は地方によつては「草市」又は「盆市」と云つて草花や果物等を商う市が開かれて盛な所もあるようです。十三日の夕方より霊棚（精霊棚）を作り平素の先祖棚より位碑を下し花水替えをして次の如きものを供えたりして霊祭りをするが地方によつて一定しません。夕方になると魂迎といつて門口や軒下で篝火を焚く、これを迎火と云つて精霊の御出を迎え道を照すと云つて田代でも昔は行われていたが最近迎火もなくなつて盆燈籠がつるされるようになつた。又地方によつては盥に水を一ぱい汲んで玄関に供える所もある。精霊が水を汲み手足を洗うと云い伝えている。をして団子やお菓子や果物を供えて挨拶する。この団子やお菓子を迎え団子迎えお菓子と云つている。昔は子供達が茄子や瓜やカラス瓜などに足をつけ馬の形にして供へ精霊の出入りを馬よりし給うなど語り伝えられているが時代の移り変りによつて今日なら自動車や飛行機の玩具でも供える所でしよう。

七月十四日は「お和え」を造り供え両親健在の者は目連の母の如き苦境に親を置かぬ目出度きお祝いをする。親子もろとも現世にあると云うので「モロ子祝い」をなし昼食だけ肉食をする所もある。

十五日は「蓮の飯」とて蓮の葉に白き強飯を包みて供え、西瓜や瓜や甘藷、リンゴ等の果物を多く供え交送り団子として団子を供えて供え父母を拵し親子健在の慶賀祈神をなし相祝するので親戚知人等は両親健在を祝し贈り物をなして祝意を表す。更に礼として答えにお贈りする中元贈答品として歳暮贈答品の習慣と共に今日まで残存しこれが転向して御世話になつたり商家の顧客様等には中元贈答の慣習が生れたのです。

以上の様にお盆祭りの昔からのことを述べましたが世の文化の変遷によつて行事も色々に変化されてきています。物質豊かな時代になればお盆祭りや中元贈答など派手に行われ易いのですが何としてもお盆祭りは祖先崇拝の念を高揚し心から霊前にお参りして霊を慰め自己を反省し明るい家庭社会の建設に努力すべきではないかと思います。私達の村では例年よくお盆祭りのことはよく申し合せ事項が守られ簡素に行われているのでうれしく考えられますがこんな場合に祖先に対する感謝報恩の念を一層高揚したいものと思います。

農村人の誇をもこう

健康な体をつくるには？

農村人の体位は都会人の其れに比し著しく低下して来て居ると言われる健康と増産は切つても切りはなす事の出来ない深い関係にあるはずなのに過去に於て農村人は案外健康増進と言う問題に無関心であつたのはどうした事であろう。其れには色々な原因もあろうが其の事は又の機会にゆづつて此処では直接健康増進の問題にふれて行きたい。

農村人自からの創意によつたものではないが、最近あらゆる機関の指導によつて、農村にも「生活改善運動」とか「衛生思想の普及運動」とか「社会体育の振興運動」とか言つたような、「何物にも替え難い尊い宝である健康」を護る為の運動が展開されて居る。

我が村でも「生活改善運動」は相当急速に進展して食生活の問題等も相当真剣に考えられるようになつた。次の「衛生思想の普及運動」も徐々にではあるが、改良便所が設置されたり、蚊や蝿を撲滅する為に部落の協同防除が行われたり、段々村民の衛生思想は高まりつゝある。最後の「社会体育の振興運動」の面では全く手がつけられて居ない。

人間の幸福の土台になる健康を支える、車の両輪のようなものは「栄養」と「運動」であり、其の何れかゞ多過ぎても、不足しても健康は保ち得るものではない。其の事は栄養を充分採る人でも運動不足の人は不健康であり、反対に運動は充分する人でも栄養不足の人は不健康である事を見ても明らかである。

前述したように我が村でも栄養知識は或程度進んで来たが、「運動」に対する認識が全く不足して居るのではなかろうか。統計表を見ても全国の最下位にある田代村民の体位をもつと〜向上せしめて、真に健康で明るい村をつくる為には、社会体育の振興を図つて「運動」に対する村民の認識を高めなければならない。

其の事は七月の定例社会教育委員会でも、相当熱心に論議が交された結果、最も手近かに実行出来る「ラジオ体操の普及」を図る事になり、部落公民館長主事の方々に公文で流し、部落公民館活動の一環として之を推し進めて戴く事になつた。願はくは各々部落民の方々は其の趣旨を了とされ御協力あらん事を。

農村人は仕事の関係で特定な筋肉だけを動かして、体全体の筋肉を動かす機会をつくらないから、前述したような神経癖の如き雑多な農民病と言われる病気におかされ、不健康をまねき、体位を悪くして作事能率を著しく低下せしめて居るのである。

我々農業労働者こそ、健康増進マッサージ等より数倍の効果があると言はれる、ラジオ体操によつて、最少限一日一回は必ず体全体の筋肉を柔軟にして、常に弾力性のある若々しい健康な体を保持する事が、幸福への近道である事を信じて疑わない。

ラジオ体操の実施は、朝のラジオ体操の時間に、部落民が学童と共に公民館にでも集るか、隣近所で申し合せてラジオのある一定の場所に集るか、其れも出来ない場合は各家庭で、子供と共にラジオ体操をすることも、家族の精神的な融和を図り、明るい家庭をつくる事ともなり、一挙両徳だと思う。

（公民館　小川記）

社会教育の反省

社会教育委員長　篠原亮

社会教育は公民館活動の活溌化と充実により、次第にその効果が現れているように思われるが、現在社会教育の大きな目標となつている一般的民主化の問題、生活改善の問題、産業経済振興の問題其の他について、反省すべきものがあるのではないかと思う。

即ち、一般的民主化の問題は終戦後個人の基本的権利と、自由、平等を強調した為に、人権の軽視や家門財力地位等による人間の差別や不平等の観念を或程度矯正することが出来た反面に、自己の権利のみを主張して他人を尊敬したり、他人え奉仕することを嫌ふ利己主義、自己の我欲を満足せしめることに専念して全体の規則や福祉を軽視する放縦気侭の風潮、或は大きな恩恵を受けている恩師、父兄、先祖、先輩、上司等を軽蔑する悪平等の観念等が世間一般の風潮となつて来たことは、一つの大きな欠陥と見なければならない。

生活改善の問題はどうであろうか。台所や便所は竈つて改善され生活用具、食物、衣服等も改善されて物の面における生活の改善は誠に顕著なものがあるがその反面に、人間生活の精神的な面、即ち教養の涵養、困窮を打破して行く辛抱強さ、質実剛健な気性、足るを知る心の余裕等に欠ける所が出て来て、打算的生活改善が反対に家庭の財政を破滅に陥らしめ、或は家族不和の原因となつて生活を破壊せしめるのに役立つている様な実例も見受けられるのである。

産業経済振興の問題はどうであろうか。これも心ある人々の熱心な施策と奨励とによつて次第に振興の一途を進んでいる様にも見えるが、而も一般的に生活は余り楽にならず、毎年の災害に堪え得る程の確固とした基礎が依然として打ち立てられない現状である。

思うに之は我等のものゝ考方或敬善の問題、産業経済振興の問題其の他について、反省すべきものがあるのではないかと思う。

以上の様に我が村でも昔は行われていたが最近迎火もなくなつて盆燈籠がつるされるようになつた。又地方によつては盥に水を一ぱい汲んで玄関に供える所もある。精霊が水を汲み手足を洗うと云い伝えている。をして団子やお菓子や果物を供えて挨拶する。この団子やお菓子を迎え団子迎えお菓子と云つている。昔は子供達が茄子や瓜やカラス瓜などに足をつけ馬の形にして供へ精霊の出入りを馬よりし給うなど語り伝えられているが時代の移り変りによつて今日なら自動車や飛行機の玩具でも供える所でしよう。

七月十四日は「お和え」を造り供え両親健在の者は目連の母の如き苦境に親を置かぬ目出度きお祝いをする。親子もろとも現世にあると云うので「モロ子祝い」をなし昼食だけ肉食をする所もある。

十五日は「蓮の飯」とて蓮の葉に白き強飯を包みて供え、西瓜や瓜や甘藷、リンゴ等の果物を多く供え交送り団子として団子を供えて供え父母を拵し親子健在の慶賀祈神をなし相祝するので親戚知人等は両親健在を祝し贈り物をなして祝意を表す。更に礼として答えにお贈りする中元贈答品として歳暮贈答品の習慣と共に今日まで残存しこれが転向して御世話になつたり商家の顧客様等には中元贈答の慣習が生れたのです。

以上の様にお盆祭りの昔からのことを述べましたが世の文化の変遷によつて行事も色々に変化されてきています。物質豊かな時代になればお盆祭りや中元贈答など派手に行われ易いのですが何としてもお盆祭りは祖先崇拝の念を高揚し心から霊前にお参りして霊を慰め自己を反省し明るい家庭社会の建設に努力すべきではないかと思います。私達の村では例年よくお盆祭りのことはよく申し合せ事項が守られ簡素に行われているのでうれしく考えられますがこんな場合に祖先に対する感謝報恩の念を一層高揚したいものと思います。

夏休み中に於ける青少年の不良化防止運動について

七月下旬より八月末迄県下各学校は夏休みに這入りましたが、夏休み中は学校の規則的生活から解放されると共に地方的には種々な祭礼や催物もあり、又暑さのため水泳やキャンプ、夜遊び等行われ心身の弛緩をきたすと共に保護者の監督及び環境の適否化により不良化えの機会が多くなるので、警察としては青少年の不良化防止運動を七月二十一日から八月三十一日まで実施し、此の目的達成に全く力を挙げて居りますので一般の協力を御願いするものであります。

此処に参考迄に昭和三十年度の青少年犯罪の数を月別に申上げます。

七月一九二四件。八月三二九件。九月二〇九件。十月一六八件。十一月一五九件。十二月一七七件。となつて居り、暑さに伴い発生件数が多い様であります。

本年の十月一日から八月末迄県下各学校の犯罪の数を月別に申上げます。

一月一一二件。二月一四九件。三月二二二件。四月一四九件。五月二五一件。六月二〇四件。七月二〇四件。八月三二九件。九月二〇九件。十月一六八件。十一月一五九件。十二月一七七件。

夏休みは暑さのため雨戸等開放して就寝する習慣がある様ですが、此の習慣をなくして、戸締をする習慣に改善する様に心掛けて貰いたいものです。雨戸等の開放は犯人を造る事であります。暑さや昼間の仕事でつかれた身体は、一度就寝すれば容易に目がさめるものではありません。開放就寝は私の家の物は何んでも持つて行つて良いからと教えて居るのと同然であります。又若い婦女子の居る処は性犯罪を発生せしめる原因ともなりますから併せて心の戸締りも致しましよう。

田代巡査駐在所

地方教育行政の組織及運営に関する法律について

去る二四国会の終末において乱立国会法も遂に引起した問題の教育委員会法も、六月三十日地方教育委員会法が公布されました。内容については大体従来の教育委員会法と似ていますが、委員の公選制度その他について改正されていますのでこの制度の概要を申延べ参考としたいと思います。

教育委員会は都道府県、市町村又は事務組合に置き委員の数は五人となつていますが町村又は事務組合については条例により三人の委員で組織することができる様になつています。委員は地方公共団体の長（首長）の被選挙権を有する者の中から首長が議会の同意を得て任命することゝなつて居り委員数五人の場合は三人以上、三人の場合は二人以上が同一の政党から選任できないことゝなつています。

委員の任期は四年で補欠の委員は前任者の残任期間で委員は毎年一部宛改選されることゝなつています。委員の兼職については他の公務員と同様禁止されています。

委員長は委員の中から選挙され会議を主宰し委員会を代表するものであり、又副委員長制は廃止されたので委員長の職務代理者を置くことゝなります。会議は委員長が必要と認めるとき、又は委員の半数以上から会議の招集を請求したときは、委員長は、これを招集しなければならない。

会議の運営その他については委員会規則で定めることとされています。教育委員長の職務は従前と殆ど同様でありますが任用資格に関する規定が別段設けられていません。事務局については従前と同様で現在の職員がそのまゝ切替られることゝなります。

教育委員会の職務権限については一九項目について例示されていますが内容は、

一、学校その他教育機関の設置、管理及廃止に関すること
二、教育財産の管理に関すること
三、教育関係職員の任免その他人事に関すること
四、生徒児童の就学、入学、転学に関すること
五、学校の組織、編成、教育課程、学習指導、生徒指導、職業指導に関すること

右の様なものであり従来委員会で担任していた次の事務は本年十月一日から地方公共団体の長へ移行することゝなります。

一、教育財産を取得し及処分すること
二、教育委員会の所掌に係る事項に関する契約を締結すること
三、教育委員会の所掌に係る事項に関する収入及支出を命令すること

その他いろいろと細部にわたり運営の問題について規定していますが、それらの点については後日にゆづることゝ致します。御承知の様に委員の公選制が選任制に又予算の二本立制の廃止、職務権限の市町村長への一部移行等若干変つたことゝなり本年の十月一日から施行されることになります。

三、覚せい剤について　覚せい剤は現在まで当村に於ては使用者を聞いて居りませんが夏休みには都市より帰省する学生其の他の者使用するやも解りませんので、此処に依る蔓延が予想されるので充分注意して下さい。

四、夜間の戸締について　夏は暑さのため雨戸等開放して就寝する習慣がある様ですが、此の習慣をなくして、戸締をする習慣に改善する様に心掛けて貰いたいものです。雨戸等の開放は犯人を造る事であります。暑さや昼間の仕事でつかれた身体は、一度就寝すれば容易に目がさめるものではありません。開放就寝は私の家の物は何んでも持つて行つて良いからと教えて居るのと同然であります。又若い婦女子の居る処は性犯罪を発生せしめる原因ともなりますから併せて心の戸締りも致しましよう。

田代巡査駐在所

村の発展を念じて

社会教育主事　小川兵一

終戦直後の言語に絶するあの苦しい思いをした時代に比較すれば物は豊富に出廻り、苦しいとは言い乍ら、我々農村人の生活も戦前よりかえつて派手になり、経済的には努力の後が見えて、旧に復した感がするけれども、日日農村に発生する悪事の件数は、反比例して戦前の数倍に増加して居ると言われる。

人間の生活は本能だけで行動する動物の生活と違つて、物質だけで幸福を求められるものでなく、豊な物質に調和した、精神的なうるおいを失つて、物質のドレイとなり、不倫不徳も敢て辞せずに蓄えた財産がかえつてわざわいして、何時も家庭内にはいさこざが絶えず、世間からは冷い眼で見られて居る金持の家庭と、物はぜいたくに無くても、家庭内に精神的な温みがあつて、一家むつまじく団欒の中に暮して居る家庭と、どちらが良いかと問えば、誰しも物質は或程度あれば、ぜいたくになくても良いから、精神的な温みのある、むつまじい家庭が良いと答えるに相異ない。けだし精神的なものが人間生活に必要欠く事の出来ない要素である所以である。

そうした考え方に立つて行われた、七月の定例公民館運営審議会並に社会教育委員会で、真剣な討議が交わされ、部落の公民館活動として、推進して戴く事になつた事項に関しては、公文で各部落の公民館長、主事、総務委員にお願いしてあるので、部落では既に色々な方法で実際活動に移して戴いて居る事と思うが、第二項の「社会を明るくする運動について」は非常に範囲が広く、然も重要な問題であるから、更に此処で取り上げて問題を提起して、広く村民全体で真剣に批判検討して戴きたいと思う。

「社会を明るくする運動」の方法も千差万別色々あろうが、其の中で委員会が特に取り上げた問題は、

1、家庭を明るくする運動の展開
2、早寝早起の奨励
3、青年団活動の強化促進

以上の三項目であつた。

▲1、家庭を明るくする運動の展開

此の事に関しては後日の部落懇談会で取り上げて特にお願いする事になつているので此処では省略する。

▲2、早寝早起の奨励

昔から「早寝早起は三文の徳」と言われて居るが、之は何も神がかり的な迷信から出た言葉ではなく、立派に科学的な根拠のある言葉である。

それでは何故「早寝早起」が良くて、「夜ふかし、朝寝」が悪いかを科学的に考察して見よう。

一、地球上の生物（動物植物細菌類に至る迄）はかた時も空気がなくては生存出来ないのであるが特に我々人間の健康を保つ上に大切なものは空気である。それ程大事な空気が、一日の中で一番濁つてきたなくなるのは、日没前後の三四時間であり、一番新鮮になるのは日出前後の三四時間であると言われる。

我々人間の体は一分一秒も休みなく新鮮な血液が流れ、体内を洗つて居て呉れるから腐敗せず少々位な病原菌がついても、すぐ洗いおとして呉れて容易な事でなければ病気にもかゝらず、健康を保てるのである。体内を洗いよごれて肺に帰つて来た血液は、其処に一分一秒の休みなく送り込まれる、空気によつて洗われ浄化されて新鮮な血液となり、再び体内の清掃作業に出かけて行くように出来ている。だからかんじんの空気が濁つていては、よごれ水で洗濯するようなもので、血液はきれいにならない。きれいにならないよごれた血液で体内を洗つても体は決してきれいになるはずがない。従つて少しの事でつかれたり病気する不健康な体になつてしまうのである。体を使えば使う程生理的に肺に多量の空気を吸い込む必要が生じて来る。夜の空気の濁つた時は出来るだけ体を静かに休めて肺に吸い込む空気の量を少くし、早朝の空気の一番新鮮な時大いに活動して、出来るだけ多量の空気を吸い込んだ方が健康増進上、三文以上の徳になることは誰にでも理解出来る事だと思う。

二、良く人間は感情の動物だと言うが、確に其の通りであつて、其の感情と言うしろものは、周囲の環境によつて、良くも動けば悪くも動く習性を持つて居る。

従つて朝の新鮮な空気の中では人間の感情は良い方向に動きやすいが、夜の濁つた空気の中では悪い方向に動きやすいのである。世の中の犯罪の九割迄が、日没前後三四時間の中に手口が初まつて居る事実にてらしても、其れが立派に証明されて居る。

人間が夜ふかしして濁つた空気の中で何時迄もこそこそしていると、感情は知らず〳〵の中に粗雑となり、何時の間にか悪い考えを抱くようになるのは当然であろう。空気の濁つた夜は早く休み、空気の新鮮な朝早く起きて、大いに活動すれば、精神的な面でも三文以上の徳がある事も理解出来る。

三、前述したように、つきつめて行けば、空気は人体の活動力の源泉であるから、空気が濁つて来れば活動力は低下するのが当然である。然も夜は昼間の仕事で疲労して居るのである、疲労した体でだら〳〵と能率の上らない仕事を長時間かけてするよりも、空気の新鮮な然も一番活気のある朝早くみつちり仕いた方が、仕事の能率の面から見ても三文以上の徳のある事が解る。

四、青年期は特に感情が動揺しやすい時期である。夜の濁つた空気の中で、くだらない遊びで夜ふかしする青年の中から、悪事を仕くものが出るのに何も不思議はない。指導者のついて居ない、青年の夜遊びが不良化の温床となるのは、当然だと言える。

心身共に大いに鍛錬しなければならない青年こそ、最も早寝早起の励行が必要なのである。周囲の協力はもとより青年自身の自覚を促したい。

▲3、青年団活動の強化促進

「鉄は熱い中にたゝけ」と言う言葉がある。人間を鉄に例えれば、一番熱のある時期は青年期である。青年期の修練が如何に大事であるかわ、今更言う迄もない。

昔の青年には、軍隊を初め、青年修養団とか青年道場とか色々な機関や団体があつて、青年は非常に多くの修練の場を持つて居たが今日は其れ等のものは全く無くなつてしまつて、青年達が自主的に結成した青年団のみが、唯一つの修練の場として存在して居るに過ぎない。

青年の為にたつた一つしかない其の青年団すらも、加入脱退は自由とか言つて、会費を納めたり、共同作業したり、少し苦しい事があると、脱退してしまう青年が多く、最近青年団は非常に弱体化し、青年の修練の場等とはおよそ縁遠い存在になつてしまつて居る果して青年が此の様な状態で放置されて居て良いものであろうか、断じて良いはずはない、次の時代には必ず其の弊害が出て来ることは、過去に於ける人類の歴史が余りにも明瞭に、其れを証明して居る。世の中は人が創造して行くものであり、立派な人物はけつして一朝一夕に出来るものではない。

よく肥えた土地から立派な作物が出来るように、すぐれた人物が育つ陸には必ず良い家庭や社会的環境がある。青年にとつて最も身近な環境は青年団である。青年団活動の強化促進は、何はおいてもなさねばならぬ大事な問題であろう。大人も青年自身もけつして他人事ではないはずである、結極自分達が生存する社会を良くするか、悪くするかの大きな問題であるから、お互い真剣に考えて青年団活動を強力に推進する方途をたてなければならない。

追記

【昔の軍隊を悪い悪いと言う人があるけれども、戦争に利用された点は確に不幸であつたかも解らないが。然し青年修練の場としては実に多くの長所を備えた機関であつた、其の証拠には昔の軍隊で鍛えられた人間には、少々位な苦難にもくじけない強い筋金がはいつて居る。】

木炭について ①

林業技術員　山下郁男
木炭検査員　下甫木元二

本村は古くから木炭製造が行われ、年々約七万俵の炭を生産し、年間収入一俵当二〇〇円とすると約一、四〇〇万円を計上しています。これは山間部の経済の一翼として、重要産業であると揚言します。

現在木炭の生産者は約一五〇人これらの人々が日々生産事業に従事し、したがつて生計の主翼としてこの事業に専念しています。

私共直接この事業に利害はなくとも、本村の林事の一部門である木炭について知識をもつことは、また何らかプラスになるのではないろうかと考えまして、木炭はどう云う方法で製造され、その原理、理論はどうようなものであるか、また木炭情勢はどうか、と云うようなことについてのべて見たいと思います。

①木炭の製造法

木炭には三種類あつて、一方を黒炭他方を白炭と云います。

木炭は空気を遮断した窯の中で極く小量の空気（即ち酸素）を入れながら生木を変化させて、炭素のみにしたものですが、製造過程の温度の上げ方と、木炭の取り出し方によつて、白炭と黒炭に分かれるのです。

窯は生木を炭化する場所即ち炭化室と木炭生木の出入口即ち窯口と窯の中に生じた各種のガスの排出口即ち煙導とからなつて、製造中即ち炭化中は空気を加減する小さな孔を作ります。

原理は、木材の中に含まれている炭素以外のすべての物質を高温によつて化学変化を起し、燃えるガス、或いは軽いガスにして窯の外に排出し、窯の中には炭素の塊のみを残すと云うことです。

この原理にもとづいて理論が生まれ、そして技術が生まれてきました。

以下順を追つて、申告書の書き方を若干述べてみます。

一、（イ）世帯番号

調査員において記入する

（ロ）世帯主住所、氏名

小組合名と名前を記入して、捺印して下さい。

（ハ）世帯員欄

世帯主を除き、現に同居する世帯員につき、続柄、職業、名前、年令を記入し、次の欄の、特別な事由で一時同居しなくなつた世帯員も、世帯員に準じて記入しますが、現住所を明記し、事由は、申告書末尾の「注」3、を参照下さい。

二、総括欄

記入しないでそのまま、お出し下さい。

三、貸付地

世帯員以外の人に作らしている農地を、田畑別に、一筆毎に、なお、村内の農地と、他町村にある農地と、わけて記入して下さい

地目は、台帳地目によらず、現況に従い、面積は「注」1、によつて記入して戴くわけですが、従来の申告書によりますと、小作人の方は、借入地で申告してあるが地主の方では貸付地として申告なく、また申告してあつても、地番面積等が一致しない場合があり、困りますから、事前によく連絡し合つて、ありのままを記入して下さい。

なお、賃貸借権の許可は受けていなくても、現に小作に出している農地は、記入を要します。

四、借入地

借入農地を全部、貸付地に準じて記入して戴くわけですが、契約期間、小作料の年額も記入し、文書契約の有無、及び備考欄は、前回の文書契約期間は経過いたしましたけれども、新しく文書契約するよう準備してあり、農閑期をみて、契約して戴きますので、前回の契約あるものは「有」と記入して下さい。

五、自作地

世帯員が所有する農地を含め、村内にある農地と、他町村にある農地とに分け、貸付地の記入方法に準じて記入して下さい。

もし自作地であるけれども、申告日現在で、所有権移転の登記がしてない農地についても記入し、備考欄に、前所有者名を記入して戴き、すぐ、農地法第三条の規定による申請書を、農業委員会へ提出して、知事の許可を受け、所有権移転の手続をするよう願います

なお、未墾地の売渡を受け、現に耕作している農地も、自作地欄に記入し、備考欄に�未と記入して下さい。

その外、申告書末尾の「注」を、ご覧下さい。

田代村農業委員会事務局

八月一日は農地の申告日です

農地法第八十四条の規定によつて毎年八月一日現在の農地の、所有及び、耕作状況を申告することになつております。そしてこれを、九月一日から三十日まで農業委員会の事務所で、従覧に供することになつております。

すでに申告書はみなさんのお手もとに着いていると思いますが、あるいは調査員の方がおもちかもわかりません。

以下順を追つて、申告書の書き方を若干述べてみます。

一、（イ）世帯番号

調査員において記入する

（ロ）世帯主住所、氏名

小組合名と名前を記入して、捺印して下さい。

（ハ）世帯員欄

世帯主を除き、現に同居する世帯員につき、続柄、職業、名前、年令を記入し、次の欄の、特別な事由で一時同居しなくなつた世帯員も、世帯員に準じて記入しますが、現住所を明記し、事由は、申告書末尾の「注」3、を参照下さい。

二、総括欄

記入しないでそのまま、お出し下さい。

三、貸付地

世帯員以外の人に作らしている農地を、田畑別に、一筆毎に、なお、村内の農地と、他町村にある農地と、わけて記入して下さい

地目は、台帳地目によらず、現況に従い、面積は「注」1、によつて記入して戴くわけですが、従来の申告書によりますと、小作人の方は、借入地で申告してあるが地主の方では貸付地として申告なく、また申告してあつても、地番面積等が一致しない場合があり、困りますから、事前によく連絡し合つて、ありのままを記入して下さい。

なお、賃貸借権の許可は受けていなくても、現に小作に出している農地は、記入を要します。

四、借入地

借入農地を全部、貸付地に準じて記入して戴くわけですが、契約期間、小作料の年額も記入し、文書契約の有無、及び備考欄は、前回の文書契約期間は経過いたしました

五、自作地

世帯員が所有する農地を含め、村内にある農地と、他町村にある農地とに分け、貸付地の記入方法に準じて記入して下さい。

もし自作地であるけれども、申告日現在で、所有権移転の登記がしてない農地についても記入し、備考欄に、前所有者名を記入して戴き、すぐ、農地法第三条の規定による申請書を、農業委員会へ提出して、知事の許可を受け、所有権移転の手続をするよう願います

なお、未墾地の売渡を受け、現に耕作している農地も、自作地欄に記入し、備考欄に㊫と記入して下さい。

その外、申告書末尾の「注」を、ご覧下さい。

田代村農業委員会事務局

婦人の地位は高まりつゝある

婦人学級に学ぶ人々

「おなごらは出しやばるな」と言われて居た時代は、女の政治や社会に対する発言権はなく、従つて女性の力が社会に及ぼす影響は少なかつたので、女性の考え方、女性の教養と言つたようなものは大した問題にならなかつたのであるが、今日は民主々義とか男女同等の立場に立つて、女も全く男と同等の立場に立つて、政治に参画し、社会的にも発言出来るようになつたので、之からは女性の考え方が色々な面で相当社会的にも影響を及ぼす事になるのである。

日本の人口の半数は女性であるが、其の女性の考え方があやまつて居れば、日本の進む方向は半分は歪められることになるのである

今日の政治の乱脈ぶりは、考えの足りない国民の半数に及ぶ婦人が内の温度を極度に高温にします。

黒窯では八〇〇度C位で、このときの煙突口の温度は三六〇〜四〇〇度C位になり、普通乾いたマツチを一本煙突口に入れて三秒位で火がつく温度になります。

以上のような考えのもとに色々の操作方法が考えられているわけで何式の窯においても原理理論は同じものであります。

（以下次号）

浅はかな考えで選んだ議員が半数を占めて居るからだと極言する学者も居る。

事政治に関してだけでなく、民主々義社会に於ける女性の物の考え方は、やはり半分は社会に影響を及ぼすものと考えなければならない。特に家庭に於ける子供の教育に於ておやである。

今日女性の物の考え方の訓練、教養の向上、地位の向上がやかましく言われるのは故なき事ではない。

最近そうした事に対する婦人の自覚が高まり、婦人学級等も年と共に内容が充実して、盛んになつつゝある事は非常に喜ばしい事である。次に今年度の婦人学級受講生名を掲げる。

田代校区
婦人学級受講生氏名

下　岩下ます子　原　さち
馬場　川原　トミ　日高　ツギ
東ノ原　小榎　ちえ　原　重子
長谷　牧原　フミ　湯之谷キク
西中郡　江口　ワキ　池田　あい
東中郡　中村　ナミ　鶴園イトエ
橋ノ口　二階　幸子　野田エミ子
中村　宮園　みき　宮園　せつ
山下　岩下　ツギ　南園アヤ子
岩崎　榎本ミワ子　窪園ツルエ
妻木　妻木八千子　野田エミ子
別府ツネ子　宮園　せつ
宮原　政子　南園アヤ子
折小野　宮園アイ子　窪園ツルエ
山ノ口　上ノ原久子　坂元トシ子
上ノ原ぶち子　木佐貫
平石　平石ノブ子　無田ミヨ子
柴立　釘田ツルエ　窪園ツルエ
上柴立　瀬口とみゑ　坂元トシ子
福崎　みす　柳田ノすき　木佐貫
上原　馬庭けさまつ　無田ミヨ子
原沢　永田　トミ　小梅枝ノブ子
池野　上ノ原ぶち子
瀬戸口　茅野ミヨ子　平石　ミエ
猪鹿倉　川畑ナミ子　福永八重子
鳥淵　君付きくえ　柳田ノすき
早瀬　高橋　クニ　小梅枝ノブ子
郷原　川畑クサエ　上ノ原ぶち子
辺志切節子　武田よしえ
鶴園　鶴園　のぶ　神田ツル子
山田よしえ　水流　とし　川畑ミヨ子
倉元きみえ　山下　サヨ　鳥淵みさ子
大原校区
婦人学級受講生氏名
西大原　大浦地シゲ　野元　マキ　神田ツル子
大原　山元ナナ子　寺園イクエ　川畑ミヨ子
東大原　鮎川　ツル　松下　キク　鳥淵みさ子
中尾　村中ユキ子　松崎とみ子　早瀬ヤチ子
横原　キク　寺田テル子
新田　中島スギ子　鶴園つゆ子
内ノ牧　鶴園　のぶ　水流　とし
宮行山　鶴戸野　大山　もよ　神田ツル子
山脇はつえ　中島ふゆ子
久木野　中村ミヤ子　藤崎スマ子
鑢山　富田　ユミ　大園　エキ
山元　富田　ユミ　大園　エキ